



昨年の園便りを読んでからこの原稿を書くようにしています。昨年も短時間降水量が従来の記録を塗り替え、洪水、土砂災害と各地に大きな被害をもたらしています。幸いに千葉県は、今のところ大きな被害は出ていません。しかし、例年よりも台風発生数が増えていますので、台風の進路によっては、洪水等のことも想定しなければならないと考えています。0歳児から預かる保育園ですから、災害に備え、日頃から訓練を怠ることは許されません。3日に大地震を想定した防災訓練を行います。猛暑の中、防災頭巾をかぶって避難する3歳以上児、避難車を利用して避難する乳児、いずれも熱中症にならない配慮も必要です。当日の気温が30℃以下であってほしいと願うばかりです。

今年も、プール遊び、かき氷、流しそうめん、スイカ割りなど、子どもたちが喜び、少しでも涼しく感じられるようなことをしました。暑い夏を乗り切る昔からの知恵ですが、楽しみの中に子どもたちに伝えられたらという期待もあります。

さて、異常気象の話ですが、毎年30℃超えが当たり前になってくると、もはや「異常」と言えなくなりますね。夏の気温は30℃を超えるものだど覚悟を決めて、その対策をしておかなくてはならないと思っています。文部科学省は、公立小・中学校のエアコン設置について調査を行いました。その結果、市町村によってエアコン設置率が大きく異なっていることがわかりました。市町村の財政力の良い所、そうでない所と大きく分かれていました。国は、このような市町村格差を解消すべく、新たな施策を講じようとしています。

保育園は乳児から通う児童福祉施設であることから、以前から空調設備は整備されています。しかし、設備は未来永劫動き続けるものではありません。乳児棟は、不具合が続いていたので前年度空調設備を一新しました。幼児棟は乳児棟よりも後に空調設備を整備したので、まだ当時のままで稼働しています。不具合があれば、業者さんにすぐ見てもらい少しでも快適に過ごせるようにしています。最近、岐阜の病院で入院患者5名が熱中症と思われる症状(現時点では確認されていません)で亡くなっています。暑い夏でも30℃までという日々が懐かしく思われるくらい猛暑が続いています。保護者の皆様のご協力でプール撤去が終わり、運動会へ向けての活動が始まります。9月になったからと言って急に気温が下がるわけではありません。水分補給などをこまめに行い、体調管理を万全にしていきたいと考えています。運動会の練習は、気温を見ながら休憩時間(水分補給)を取りながら進めなければならないと思っています。今年の運動会は、去年のように雨で順延することも想定として10月6日(土)としています。10月最初の土曜日であり、連休の初日に当たります。ご家族で行楽の予定を立てられているご家庭もあるかもしれませんが、どうか運動会に子どもたち全員が参加していただけるようお願いいたします。 園長 平野弘和

緊急連絡は、ホームページ、携帯サイトにアップします。事前登録をお願いします。

ホームページ <http://www.iwanehoikuen.com/>

携帯サイト <http://iwanehoikuen.com/i/index.htm>

QRコード

